

部局名	生涯学習部	所属名	文化・スポーツ課	所属長名	花島 好美	電 話	481-0305
-----	-------	-----	----------	------	-------	-----	----------

1. 事務事業の位置付け・概要（PLAN）

コード		4063		事務事業名称		スポーツ振興事業					短縮コード		経常	4063	臨時	4064	
予算区分		会計	01	一般会計		款	10	教育費		項	05	社会教育費		目	11	スポーツ振興費	
区 分		☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務 ☐ その他				根拠法令等		スポーツ振興法、八千代市補助金等交付規則、八千代市社会教育関係団体事業補助金交付要項									
事業概要（事務事業を開始したきっかけを含めて記入）																	
市民の運動不足やストレスなどによる体力の低下や生活習慣病の増加, 児童生徒の学校週5日制の普及への対応等の対策が求められるようになり, スポーツレクリエーション活動の果たす役割が益々重要となってきた。「いつでも」「どこでも」「だれでも」がスポーツを楽しめるような条件の整備が必要となってきた。																	
事務事業を取り巻く状況の変化 又、今後の変化の推測 市民の自由時間の増加や高齢化の進展など生活環境の急速な変化が伺える。このため, スポーツレクリエーション活動への市民のニーズへの多様化がみられると共にスポーツ人口の増加により各種スポーツ施設やスポーツ指導者の要望に適した講座や教室の不足が懸念される。						総合計画の施策体系	5本の柱（章）		02	人間尊重都市をめざして							
							大項目（節）		02	生涯学習							
							中 項 目		03	スポーツ・レクリエーション							
							小項目（施策）		01	生涯スポーツ活動の推進							
							細 項 目		01	地域スポーツの活性化							
									02	指導者の育成							
実施計画の計画事業		2204	第65回国民体育大会実施事業														
		2205	スポーツ・レクリエーション施設の整備基本構想の策定														
計画事業の位置付けの有無				☐	計画事業期間		平成20年4月 ～ 平成22年3月				計画事業費		千円				

2. 事務事業の目的・指標・実績（DO）

対象 （誰を何を対象にしているのか）	①一般市民 ②体育指導委員 ③スポーツ統括団体											
手段 （具体的な事務事業のやり方、手順、詳細）	※平成20年度に実際に行ったこと： ①スポーツ教室の開催 ②体力テストの実施 ③スポーツ大会の開催 ④体育指導員の育成及び研修 ⑤国民体育大会（ウェイトリフティング競技・バスケットボール競技）の事前調査, 実行委員会設立 ⑥市内小中学校 3 2 校の体育館、屋外運動場、プールを市内スポーツ団体に開放 ⑦当年度事業に関わる補助金の交付や事業の実施・運営の指導 ⑧スポーツ・レクリエーション施設の整備基本構想の策定 ※平成21年度に計画していること： ①スポーツ教室の開催 ②体力テストの実施 ③スポーツ大会の開催 ④体育指導員の育成及び研修 ⑤国民体育大会の開催準備として、ウェイトリフティング競技・バスケットボール競技のリハーサル大会を実施し、本大会の運営に備える ⑥市内小中学校 3 2 校の体育館、屋外運動場、プールを市内スポーツ団体に開放する ⑦当年度事業に関わる補助金の交付や事業の実施・運営の指導 ⑧国民体育大会の開催に向けて事務局を市民体育館に移転する											
意図 （何を狙っているのか）	①スポーツ・レクリエーション活動への普及振興 ②市民の体力向上及び健康増進 ③地域住民の交流及び地域の活性化											
結果 （どんな結果に結びつけるのか）	入力対象外											
区 分				単位	1 9 年 度		2 0 年 度		2 1 年 度			
					実績		計画		実績		計画	
対象指標	指標 1	スポーツ事業件数		件	102		107		98		103	
	指標 2	学校開放登録人数		人	12, 538		13, 105		12, 814		13, 455	
	指標 3											
活動指標	指標 1	スポーツ事業参加者数		人	30, 244		31, 756		29, 315		30, 781	
	指標 2	学校開放利用人数		人	322, 777		338, 196		325, 095		341, 350	
	指標 3											
成果指標	指標 1	スポーツ事業参加者数の推移(前年比)		%	121		105		97		105	
	指標 2	学校開放利用人数の推移(前年比)		%	100		105		101		105	
	指標 3											
上位成果指標	指標 1											
	指標 2											
	指標 3											

コード		4063	事務事業名称	スポーツ振興事業		所属名	文化・スポーツ課
			単位	１９年度	２０年度		２１年度
				実績	計画	実績	計画
事業費 (A)	財源内訳	国	千円				
		県	千円				13,073
		地方債	千円				
		一般財源	千円	22,487	32,380	29,899	49,066
		その他	千円	746	300	300	
	主な事業費の内訳			○経常：報酬1628 賃金4726 報償費10 消耗品費726 燃料費6 光熱水費36 修繕料2038 手数料18 保険料36 使用料及び賃借料4550 備品購入費462 負担金14 補助金8657 ○臨時：普通旅費386 補助金360	○経常：報酬168 賃金6258 修繕料2000 委託料1787 使用料及び賃借料4550 補助金7486 ○臨時：負担金6605	○経常：報酬1687 賃金3997 報償費10普通旅費2 消耗品費913 印刷製本費347 光熱水費36 修繕料1996 手数料18 保険料35 委託料1787 使用料及び賃借料4550 備品購入費721 負担金14 補助金7486	○経常：報酬1689 賃金5566 報償費10 普通旅費18 消耗品費883 光熱水費36 修繕料1357 手数料19保険料52 委託料1787 使用料及び賃借料4550 負担金14 補助金7286○臨時：消耗品費224 修繕料30 保険料14工事請負費95備品購
	人件費 (B)		千円	85,518.7	94,873.3	94,301.6	109,460.5
トータルコスト (A) + (B)		千円	108,751.7	127,553.3	124,500.6	171,599.5	

3. 事務事業の評価（SEE）

評価 類型	評価事項		評価区分		理 由				
目的 妥当 性	①事業目的が上位の施策に結びついているか？		☒ 結び付いている		幼児から高齢者に至る幅広い年齢層がスポーツ・レクリエーションに親しむ事により健康や仲間づくり, 生きがいのある生活を求めることが施策に結びついている。				
			☐ 結び付くが見直しの余地がある						
			☐ 結びつきが弱い・ない						
			☐ 評価対象外事項						
	②すでに所期目的を達成しているか？ ※「達成している」を選んだ場合、⑥に進んでください。		☐ 達成している		多様化する市民のスポーツニーズに対し, 施設面や指導者の不足等により対応できていない現状がある。				
			☒ 達成していない						
			☐ 評価対象外事項						
	③民営化で目的を達成できるか？ ※民営化・・・事務事業の全部又は一部の実施主体を全面的に民間事業者等に移行すること。 （民間委託は、権限に属する事務事業等を委託することで、民営化とは異なる。）		☐ 可能性はある		この事業は, スポーツ団体の活動を通して市民の健康増進に寄与しようとするものであり, スポーツ大会やスポーツ教室の増加に加え, 総合型地域スポーツクラブを設立するための支援は行政の義務である。				
			☒ 可能性はない						
			☐ 評価対象外事項						
④「対象」・「意図」の設定は現状のままで良いか？		☒ 現状のままでよい		目的, 意図は変わっておらず見直しの必要はない。					
		☐ 見直す必要がある							
		☐ 評価対象外事項							
有効性・ 効率性	⑤今後、有効性や効率性を向上させる可能性はあるか？ 可能性がある場合は、⑤－２、３を記入する。 可能性がない場合は、理由を記入する。		☒ 有効性向上の可能性はある						
			☐ 効率性向上の可能性はある						
			☐ 両方可能性はある						
			☐ 可能性がない						
		⑤－２ 有効性や効率性を向上させる手段は何か？ 該当する手段を選択し、具体的な方法と得られる効果を記入する。手段が「類似事業との統合・役割見直し」である場合は、該当する類似事業を記入する。	☐ 民間委託等		スポーツ大会, スポーツ教室, 総合型地域スポーツクラブについて広報やインターネットを通じて広く市民周知し, 多くの人に活用してもらう。				
			☐ 臨時的任用職員等の活用						
			☐ ＩＴ化等の業務プロセスの見直し						
			☐ 受益者負担の見直し						
			☐ 類似事業との統合・役割見直し		類似 事務 事業 名称	1		実施主体 (所管部署)	
			☒ 上記以外の方法				2		実施主体 (所管部署)
⑤－３ 推進にあたっての課題はあるか？（一時的な経費増・市民の理解等）			☒ ある		今までスポーツ活動に参加していない者に, スポーツの関心を持たせていくための環境づくりが難しい。				
		☐ ない							

コード	4063	事務事業名称	スポーツ振興事業				所属名	文化・スポーツ課
今後の方向性	⑥この事務事業の今後の方向性を選択し、その詳細について右欄に記入する。	☒ 改革・改善して継続			○インターネット等で大会情報の即時提供を行うとともにスポーツ施設予約の改善に努める。 ○市民が望む多様化するスポーツ種目に対応する為の指導者養成や研究に努める。 ○平成22年に本市で開催される国民体育大会について市民へ周知し、気運を高める。			
		☒ 手法プロセスの改革・改善						
		☐ 事業規模の拡大・縮小						
		☐ 統合・役割見直し						
	☐ その他							
☐ 廃止(事業完了含む)								
☐ 休止								
☐ 現状のまま継続								
	⑦この事務事業の今後の経費・成果の方向性について選択し、右欄に理由を記載する。			経 費			広く周知することにより、大会等への参加者数の増加が見込める。また、指導者の養成により様々な種目に対応できるためコストについては不変である。	
				削 減	不 変	増 加		
		成 果	向 上	☐	☒	☐		
			不 変	☐	☐	☐		
			低 下	☐	☐	☐		

この事務事業に対する市民や議会の意見（担当者が把握している意見） ※内部サービス業務の場合は、住民ではなく、サービス利用者、関連部門の意見や実態など									
①学校体育施設は学校体育施設利用団体の増加，また体育館の耐震工事实施により飽和状態にあるため, 新規に利用したい団体が参入しづらい面がある。 ②スポーツが行なえる場所として総合運動場や屋外水泳場の整備を求める声が多い。 ③スポーツ施設の予約方法の改善									

所属長コメント	・スポーツ振興マスタープランに基づき，地域スポーツの振興に努めてまいります。 ・生涯スポーツ社会の実現を目指し，健康で活力ある豊かな市民生活を形成することを目的として，スポーツ・レクリエーション施設の整備基本構想を策定しました。								
評価調整委員会評価	☒ 改革改善して継続			担当課の評価のとおり，課題解決に向け検討を行い，可能なことは推進すべき。					
	☒ 手法プロセスの改革・改善								
	☐ 事業規模の拡大・縮小								
	☐ 統合・役割見直し								
☐ その他									
☐ 廃止(事業完了含む)									
☐ 休止									
☐ 現状のまま継続									